

施策名	行政評価 施策体系	議会運営の支援	施策 統括課	議会事務局	氏名	町田勝則
政策名	推進体制		施策 関係課		なし	

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等

- 国立市議会
- 国立市議会議員
- 市民

意図(対象をどう変えるのか)

- 議会の役割が十分に発揮されている
- 市民が議会情報を入手できる

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 定例会・臨時会開催回数	回
イ 委員会開催回数	回
ウ 議員数	人
エ 人口	人

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 議員提出条例・意見書・決議・要望件数	件
イ 支援体制に対する苦情件数	件
ウ 議会に関する情報が、十分に公開及びある程度公開されていると思う市民の割合	%
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
市民への情報公開・情報提供	議会報及びインターネット中継システムの充実に努めます。
議会活動の支援	議会が円滑に運営されるよう、議会事務局職員の能力の向上に努めます。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
対象指標	ア	回	見込み値										
			実績値	5	5	9	5	6	4	5	5		
	イ	回	見込み値						20	20	36		
			実績値						24	26	37		
ウ	人	見込み値			24	24	24	22	22	22	22		
		実績値	24	24	24	24	22	22	22	22	22		
エ	人	見込み値									76,000		
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	74,303	74,546		
成果指標	ア	件	成り行き値				17	17	17	16	16	16.0	
			目標値				17	17	17	16	16	16.8	
			実績値	28	14	10	10	11	24	23	29	14.0	
				基本計画における施策の目標設定の根拠									
				社会情勢によって変わる数字であるため、2010(平成22)年度~2014(平成26)年度の平均値を目標値としました。									
	イ	件	成り行き値				0	0	0	0	0	0	0
			目標値				0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
				基本計画における施策の目標設定の根拠									
				現状値として支援体制に対する苦情はないため、その状態を維持することを目標としました。									
	ウ	%	成り行き値				34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2
			目標値				36.0	37.8	39.6	41.4	41.4	41.4	
実績値			12.9		34.2	35.1	38.0	37.0	35.5	37.5	34.7		
			基本計画における施策の目標設定の根拠										
			2010年3月公表の第2回国立市市民意識調査で、年代別に最も高い水準である65歳~69歳の41.4%を、対象者全体で超えることを数値目標値としました。										
エ		成り行き値											
		目標値											
		実績値											
			基本計画における施策の目標設定の根拠										
オ		成り行き値											
		目標値											
		実績値											
			基本計画における施策の目標設定の根拠										
事務事業数			本数	15	15	16	16	15	15	10	10	10	
施策コスト	事業費内訳	国庫支出金	千円										
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円	244,206	250,319	254,056	254,126	341,934	286,388	273,674	265,163	30,795	
	事業費計(A)	千円	244,206	250,319	254,056	254,126	341,934	286,388	273,674	265,163	30,795		
人件費	延べ業務時間	時間	11,608	13,363	14,894	14,789	14,699	15,677	15,970	20,806	16,771		
	人件費計(B)	千円	58,040	66,815	74,470	73,945	73,495	64,837	65,620	82,129	77,553		
トータルコスト(A)+(B)		千円	302,246	317,134	328,526	328,071	415,429	351,225	339,294	347,292	108,348		

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・平成23年の改選後に一旦落ち込むが、その後、徐々に傍聴者数は増加しており、平成27年には小学校6年生の議会傍聴で傍聴者が増えるなど、ホームページ情報の充実、各議員による傍聴声かけなどにより議会活動に関心を持つ住民の増加がある。(平成21年度:572名、平成22年度:692名、平成23年度:874名、平成24年度:497名、平成25年度:467名、平成26年度:692名、平成27年度:1,065名)  
 ・平成22年第3回定例会で定数を2減とし22名とする議案が可決され、平成23年4月の改選後に現在の定数22名となった。  
 ・市販パソコンの低価格化や携帯端末等の普及が進み、市民が手軽に情報にアクセスする環境が整ってきている。平成27年度には、第3回定例会からスマホ・タブレット視聴が可能となり、平成28年第1回定例会から委員会中継を開始した。  
 ・平成27年1月から国立市議会基本条例が施行し、会議の公開、市民意見の聴取などの規定に基づいた取り組みの増加が見込まれる。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

[市民]  
 ・傍聴機会の増進や傍聴に来られない市民のために、議会の平日夜間・土日での開催や委員会のインターネット中継をしてほしいとの要望がある。  
 ・傍聴者用に閲覧用の議案・資料等の部数を増やしてほしいとの声がある。  
 ・会派代表者会議を公的な会議と位置付けて、公開を望む陳情が平成24年第1回定例会に出された。  
 [議会]  
 ・インターネットによって、さらに委員会の審査等の内容を公開したいという意見がある。  
 ・議会基本条例策定の中で、「陳情・請願は市民からの政策提案」とであるという考え方が示された。

5 27年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

27年度行政経営方針	取組状況
なし	・職員の能力向上のため、積極的な研修参加を促した。 ・議会報編集委員会では、紙面のカラー化を踏まえて、引き続き読みやすさを工夫した。 ・平成27年度には議会中継のスマートフォン・タブレット視聴及び委員会インターネット中継を実施した。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標	目標値	実績値	比較
成果指標ア	議員提出条例・意見書・決議・要望件数		
	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標イ	支援体制に対する苦情件数		
	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度目標値を達成	<input type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標ウ	議会に関する情報が、十分に公開及びある程度公開されていると思う市民の割合		
	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成	( <input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標エ			
	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成	<input type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標オ			
	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成	<input type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標カ			
	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成	<input type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)			
D:成果がどちらかと言えば低下した			
他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い)			
B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である			
背景として考えられること ア 陳情の件数減から陳情を受けての意見書提出等の議案提案が減少したと考えられる。 イ 住民の議会に対する理解が進んでいないことから苦情が少ないのではないかと考えられ、今後、情報発信が充実するほどに認知度や理解度が深まり苦情も出てくると考えている。 ウ 住民の議会に対する理解が進んでいないことから、公開されていると思う市民の割合はほぼ横ばいとなっている。本会議のインターネット中継(ライブ・ビデオ)、会議録検索システムとも運用は固定化しているが、新たに委員会中継を開始したため、今後は上向くものと考えている。 平成27年3月公開の第7回市民意識調査では、議会の情報が十分に公開されているかの設問に対して、「わからない」との回答が49.6%であったが、平成28年3月公開の第8回市民意識調査では、55.4%となり依然として住民の議会に対する関心は薄いといえるが、市政への関心は高いので他市よりは高い水準と考えている。			

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

・平成27年度は、議員の改選があったことで新しい議員体制でリスタートしたため、円滑な議会運営を目指した取り組みが中心となった。その結果、議会が特に混乱することなく支援ができたと考えている。  
 ・職員能力の向上のための専門研修受講には、積極的に取り組んだ。

6 施策の課題・今後の方向性

・新しい議員体制も落ち着いてきたので、議会運営委員会をはじめ各常任委員会の活動支援、議員提出議案等を出しやすい支援を行うために事務局の組織力の向上と、事務局職員の能力向上を進める。  
 ・インターネットを活用した迅速な情報提供の充実  
 ・購入から10年以上を経過し、老朽化・修理用部品の調達が困難となっている議会中継システムの入れ替え。